



春休みの家庭学習

～「自分で考え、選び、計画し、やりぬく力」を育てるために～

校長 花田 修

本校では、こどもたちの学力向上に向けて授業改善に取り組むとともに、「加茂タイム(学習定着に向けた日々のスキルタイム)」を設け、基礎・基本の反復練習を行っております。これらの活動や学力テスト等を通して見えてきた課題の一つに、「こどもたちの学力や学習の定着度合いには大きな個人差がある」という点があります。全員が一律で同じ問題集に取り組むこれまでの形では、ある子にとっては簡単すぎて物足りず、別の子にとっては難しすぎて手が止まってしまうなど、一人ひとりの学力差や学習ペースの個人差に十分に対応しきれないというジレンマがありました。

そこで、3月26日からの春休みの家庭学習(宿題)につきましては、より個人の課題に寄り添うため、新しい取組に転換していきます。「学校から全員に同じ問題集を配布する」ことを見直し、「学校が提示したりストの中から、こども自身が自分に合ったものを選び、ご家庭で注文していただく」ことへと変更いたします。(※最低1冊のご購入をお願いいたします。)

このねらいは、学力差や個人差に応じた最適な学習環境を整えること、そして、こどもたちの「自分で考え、計画的に学習を進める力」を育てることです。与えられた課題をただこなすのではなく、「今の自分には何の復習が必要か」「どれくらいの量なら最後までやりとげられるか」を自ら問い直し、決定する経験がこれからの主体的な学びの土台となります。春休みの生活(期間、スケジュール等)に照らし、「これなら自分の力で計画通りにやり切れる!」という見通しをもつことが大切です。ぜひ、ご家庭におかれましても、今年度

の学習の様子を振り返りながら、「どの問題集が今の自分にぴったりか」「1日何ページ進めれば終わるか」をこども自身が考えたり、必要に応じてお子様と一緒に話し合ってみたりしてください。自分で選び、自分のペースで最後までやり切ったという「達成感」が、次学年へ向かうこどもたちの大きな自信につながると考えております。

詳しい内容や選択できる問題集については、各学年だよりを参考にしてください。



「人権の花」感謝状贈呈式

2月25日に「人権の花」感謝状贈呈式が行われました。加茂小学校では、3年生から5年生の児童が参加しました。学校全体で人権の花であるヒヤシンスを育ててきました。

児童からは、「ヒヤシンスの色や大きさ、生長の速さが一つ一つ違うこと」が人間の違いと同じく大切に素敵なことだと知って感動したことや心をこめて育ててきたことなどが発表されました。

こどもたちの心にも素敵な「人権の花」が咲いたようです。

人 KEN まもる君とあゆみちゃんにも、ごあいさつ♪

